令和2年7月発行 http://idealideal.org/

あいであるREPORT レポート

NUMBER 8

令和2年6月585名に
実家便を発送いたしました!

「実家便」を退所した子どもたちへのアフターケアサポートとしてご活用ください!

施設を退所し社会生活を始めた子どもたち。
慣れない環境、新型コロナウィルスの感染拡大もあって
特に不安な日々を過ごしています。
「あなたを気にしています。」というメッセージとともに、初めての実家便を子どもたちに送りました。

令和2年度新規支援者へ発送した実家便
※協賛品(寄贈品)の内容は、その都度変わります。

初回支援者向け実家便リスト

災害時に役立つ防災用品、長期保存可能な食品を中心に入れています。

食品

- マルハ金のどんぶり　親子丼 ×1
- マルハ金のどんぶり　中華丼 ×1
- 江崎グリコ 常備用カレー職人 (中辛) 170g ×2
- サトウのごはん 銀シャリ 200gパック ×2
- サンヨー厚切りパインひとくちカット227g ×2
- サンヨー ライトツナスーパーノンオイル 3缶P ×1
- 保存缶前田のクラッカー ×1
- マルコメ フリーズドライ 顆粒みそ汁とうふとわかめ 6食 ×1
- マルコメ 甘酒豆乳ブレンド ×1
- ラングドシャクッキー ×1
- マルハニチロ ツナフレーク 80g ×6
- スイスデリス ロスティ 250g ×1
- プラチナミルク ×1
- 息すっきりAQUO ガム ×1
- 温めずにおいしい野菜カレー ×1

防災用品

- マイレットmini(携帯用トイレ) ×1
- イベントリュック ×1
- 緊急用呼子笛 ×1
- 防寒シート ×1
- 非常用食器折り紙 ×1
- コンパクトLEDランタン ×1
- 単3アルカリ乾電池 4本パック ×1
- 軍手 ×1
- 携帯用使い捨てカイロ10パック ×1
- キューゴバン 40P ×1
- カードケース ×1
- 緊急連絡カード ×2

同封メッセージ

- 施設職員からの手紙
- 財団メッセージ封筒
- ボランティアメッセージカード

新たにご協賛いただきました! コストコホールセールジャパン株式会社様

▼実家便発送作業の風景

継続支援者向け実家便はこちら

インタビュー「実家便」についてどのようなご感想をお持ちですか?

子どもの園　和田 靖子先生 より

実家便の存在を知ったのは、四年ほど前になる。園を出て一人暮らしを始めた卒園生にとって何とありがたい事と、さっそく二人の卒園生の名前をあげさせて頂いたことを覚えている。六人の子どもたちが、次々と実家便のお世話になってきた。

「役に立つ」「便利」「宅急便が届くのって嬉しい」「箱を開くとき、ワクワクする」など、どの子も実家便に感激した。とは言いながら、残念なこともあった。ある子は、何度か不在にし、不在票にも応答せず、宙に浮いた実家便は、あいであるに戻され、改めて施設に送られてきた。ちょうど用があり施設に訪ねてきた彼女に「どれだけ多くの方たちの手を通して届けられていることか。配達の人も仕事とはいえ、何度も足を運んで留守というのは迷惑なことだし、人の温かい気持ちを踏みにじるようなことをしてはいけない。」と説諭した。

「でもね先生、忙しくて留守ばかりだし、いつ配達してもらったらいいのかもわかんないし。それに忙しくてご飯も自分で炊けてないし…。これじゃあ相手に本当に失礼だよね。」と彼女自身が言う。「そうだねえ、きちんと応答できないんだったら、お断りして、他の方に譲るほうが、生かされるかもしれないね。」と相談の結果、お断りした例があった。本当に申し訳ないことだった。コロナ猛威の今、バイトも断られ、心配ばかりが募る中、送られてきた実家便に「本当に嬉しかった、助かった」と言ってきた子がいた。のぞきこむ箱の中に、大きな愛を感じたことでしょう。

岸和田学園　廣田 将先生 より

初めて実家便というものがあると聞いた時は、アフターケアをするにあたってこんなに良いものがあるのかと、半ば半信半疑で利用させてもらいました。実家便がスタートすると物資が届き、最初は子どもたちも無いものねだりをして、あれがない、これ欲しいなど色々とわがままを言っていましたが、社会生活が長くなるに連れて、施設以外の方からの見守りや支援の有り難さに切実な感謝の気持ちを伝えてくれました。また、この支援により、なんとなく疎遠になる卒園生を、必ず定期的に来る卒園生に変えてくれました。施設内の対応に追われる毎日の中でアフターケアを充実させるのは本当に困難だと思います。本当に助かっています。

星美ホーム 伊丹 大輔先生 より

新型コロナウイルスの影響もあり、特に学生にとってはアルバイトもできず、学校にも行くことができないという不安な日々を過ごしている様子でした。

そんな中、丁度よいタイミングで「実家便」を届けていただき、学生はもちろん、就職している卒園生にとっても非常にタイムリーな支援につながりました。卒園生からは「本当に助かった。」、「食材と手紙に勇気づけられた。」など、感謝の言葉が聞かれました。この支援は、単発ではなく、定期的であることで、卒園生が施設や支援団体とつながっていること、一人ではないという思いを実感でき、物的にも精神的にも心強いものになっているように思います。支援していただいている子どもの中には、今年度専門学校を卒業し、新たな意味で社会に出ていく卒園生もいます。学生時代とはまた違った困難もあると思いますが、「実家便」も一つのきっかけにさせていただきながら、繋がりをもち、少しでも孤独感をやわらげ、今後の自分の人生を前向きに生きて行ってくれればと願っています。「実家便」という支援は、施設にとっても卒園生にとっても、具体的であり、とてもありがたい支援となっています。

子どもからの感想

僕は学園で支えられて生きてきたなと最近特に感じています。そしてそれはこれからも変わることはないと思います。手紙や実家便を通じて、一人じゃないことを確認することができました。仕事や生活の励みになりました。本当にありがとうございます。

令和2年度 マネークリップレクチャーについて

新型コロナウィルス感染拡大により、
施設訪問によるマネークリップレクチャーを
見合わせております。
リモートにてレクチャーを行う予定ですが、
詳細はあいである事務局までお問合せください。

財団法人あいであるの実家便™支援
実家便
公益財団法人
あいである
〒141-0031
東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル12F